

シャープが A 種種類株式の取得・消却を発表 ― 見通しポジティブ変わらず

以下は、シャープ株式会社（証券コード：6753）の「自己株式（A 種種類株式）の取得に係る事項の決定及び自己株式（A 種種類株式）の消却について」の株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は6月11日、メイン銀行2行が保有するA種種類株式を6月21日に取得・消却すると発表した。19年1月30日にも当該株式を取得・消却しており、本件によりメイン銀行2行に割り当てたA種種類株式の全てを取得・消却することになる。今回の取得価額は970億円であり、取得に際しては手元資金を活用する方針である。
- (2) JCR では、当社がA種種類株式を手元資金の活用により早期に取得・消却する方向性を当社の格付や見通しに織り込み済みである。したがって、本件は当社の格付や見通しに影響しない。A種種類株式には金銭を対価とする取得請求権が存在しており、金銭償還による負担の可能性が元々想定されていた。資本の質を勘案した当社の財務構成は改善が継続する方向にあるとJCRはみている。

（担当）千種 裕之・関口 博昭

【参考】

発行体：シャープ株式会社

長期発行体格付：BB

見通し：ポジティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル